

<各ヒアリングから抜粋>

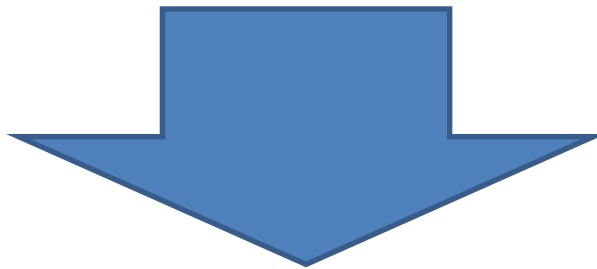
- 商工会・他企業・行政との関係も密なので仕事がしやすい。
- TAMA協会のような広域で活動している組織があると、市外の企業ともつながれる。何かと相談しやすい。
- 市内の大企業が中小企業のことを知らない。取組み始めているが、まだ交流は少ない。
- 地域で事業者の顔が見えていないと苦情が来ってしまう。産業祭や清掃活動などでもっと顔を売ったり、それを発信していくことも重要ではないか。
- DX、CASE、脱炭素などは、一つの市ではなく広域で取り組んだ方が良い。
- 昨年、学校給食が止まったことで野菜が余った時に、事業者が買いあげたり、譲ってもらったりした。これは市内で生産者と消費者の距離が近い、小回りがききやすいということの現れではないか。
- 市民でも市内のことを詳しく知っているとは限らない。市民にもアプローチしていきたい。
- リスクを取って新事業展開を行う人や融資を受けることを決意した人に対する支援・セーフティネットの充実を求めたい。挑戦する・挑戦したい人への支援が重要。
- 市内産農作物について、飲食店とのコラボに取り組んだこともあったが、飲食店からの要望は少量なので、なかなか契約に至らなかった。マッチングや調整などを行う組織やしきみがあるとありがたい。
- コロナ禍での人の行動変化にも考慮が必要。

<委員からの意見>

- 羽村市内の工業地域、工業専用地域は、ハザードマップ上では指定区域ではないと思うが、新たな感染症や、東京での発生が懸念される首都直下地震、近年、頻発化・激甚化する風水害等、災害に対する「危機管理」の項目も加えてはどうか。
- 自治体主体による振興計画は、どのような産業であれ域内に住む市民に主体があるべきと考える
- 市民みんなが案内人となる発想や地元に対する愛着を深めて頂き情報発信する、といった街全体で観光客を受け入れるという意識を持ちたい。
- 顔が見えるコミュニティ形成が羽村市の強みではないかと感じる。
- 市民と事業者がともに良い関係を築けるような仕組みが必要ではないでしょうか？

<追加すべきではないかと思われる施策>

- 中心市街地などの都市基盤の整備
- 環境経営を取り入れる、推進していくための支援
- 職住近接のまちを維持するための雇用対策事業
- 高齢者、子育て世代、女性、外国人誰もが働きやすい環境の整備
- 災害時に操業を継続できる体制構築支援
- 羽村の魅力の発信、知名度向上
- SDGsに配慮した事業活動支援



抽出されるキーワード

連携強化

産業分野間連携

事業所間連携

産学官金連携

広域連携

地域に根差した産業

基盤整備

都市基盤整備

SDGsに配慮した経営の推進

事業活動継続支援

雇用環境の整備

魅力の発信

市民の意識醸成

チャレンジ支援

